

高齢者虐待最多1.7万件

17年度 介護施設では510件

厚生労働省は26日、65歳以上の高齢者への虐待について、2017年度は前年

度より752件多い1万7588件だったと発表した。内訳は、家族や同居人

による虐待が5年連続の増加で1万7078件、介護施設職員による虐待が11年連続の増加で510件。全体数と内訳数のいずれも過去最多だった。虐待

かその疑いによる死亡」は28人だった。

調査は高齢者虐待防止法に基づき、相談や通報を受けた自治体が虐待と判断した件数をまとめた。

介護施設での虐待に関する通報・相談は1898件

通報などがあり、行政から指導を受けた施設で起きた。虐待1件で被害者が複数いる場合があり、被害が特定されたのは854人。

虐待の内容（複数回答）は、「身体的虐待」が59・8%で最も多く、暴言などの「心理的虐待」30・6%、排泄のうち3割の157件は、「夫」21・1%など。要因（同）は「介護疲れ・介護ストレス」が24・2%で最も多かった。（浜田知宏）

虐待をした要因（同）は、「教育・知識・介護技術等に関する問題」60・1%

、「職員のストレスや感情コントロールの問題」26・4%、「倫理観や理念の欠如」11・5%だった。

家族による虐待は1万7078件、被害者は1万7538人。虐待の内容（同）は「身体的虐待」66・7%、「心理的虐待」39・3%、「介護等放棄」20・1%、「夫」40・3%、「夫」3%だった。虐待をした

のは「息子」40・3%、「夫」21・1%など。要因（同）は「介護疲れ・介護ストレス」が24・2%で最も多かった。（浜田知宏）